

## 講座『みんなで町の自然を調べよう～桜・タンポポ・春の花～』及び企画展『みんなで調べた今年の大磯町の春花』の実施報告

\* 北水 慶一

### 1. はじめに

大磯町郷土資料館では、平成 22 年度に教育普及活動事業と企画展事業を連動させた企画を実施した。教育普及活動事業に位置づける植物分布調査と企画展事業とを組み合わせたものである。これまでも教育普及活動の調査の延長に企画展の開催を見据えた企画を行ってきたが、本企画では調査と展示とをセットとして、期間をおかず企画を進めるとともに企画展会期中にも調査を行ない、その都度、調査の結果を反映させるというやり方を進めた。通常、企画展は完全に完成した状態で公開するが、本展では 7～8 割方完成という状態で企画展初日をむかえ、徐々に新しい情報を加えていき、会期中中に完成させるという手法で、会期中に展示内容に変化を持たせた。本稿では企画の進行を紹介するとともに一連の調査の結果を紹介する。

### 2. 講座『みんなで町の自然を調べよう～桜・タンポポ・春の花』の実施

#### 2-1. 調査方法

##### 1) 調査員

調査員は植物調査に慣れている方、不慣れな方を問わず、町広報で募集し、参加を募った。呼びかけに対して大磯町、二宮町在住の 37 名の方々にご応募いただいた。

##### 2) 調査期間

調査期間を次のようにした。1 年間で 24 の時期で分ける二十四節気をもとに、立春（2 月 4 日）から立夏の前日（5 月 4 日）までを調査期間とした。

##### 3) 調査対象の植物

調査対象の植物は調査参加者との協議のもと、16 種類に絞り込んだ。大枠を「桜」、「タンポポ」、「春の花」として、「桜」は神奈川県植物誌調査会編集「神奈川県植物誌 2001」、平塚市博物館発行「湘南植物誌 V—分布図集 増補改訂版—」を参考に本町において確認できそうで、かつ、見分けが付きやすい種類を中心に選んだ。その結果、ヤマザクラ、オオシマザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラ、イヌザクラ、マメザクラ、ウワミズザクラを対象とすることにした。

「タンポポ」は 2000 年に分布調査を実施しており、10 年後の推移を確認しようという試みから前回と同様にカントウタンポポ、シロバナタンポポ、セイ



図 1 調査参加者

ヨウタンポポ、アカミタンポポの 4 種を選んだ。

「春の花」は当初、大磯町で特徴的によく見られるものを 5 種程度、任意に選び出そうと考えていたが、調査参加者から調査を通して春の七草の見分け方を学びたい、分布状況について知りたいと意見が出たため、一般的によく知られる春の七草を対象とした。芹（セリ）、薺（ナズナ）、御形（ハハコグサ）、繁縷（ハコベ）、仏の座（コオニタビラコ）、菘（カブ）、蘿蔔（ダイコン）の 7 種であり、このうち、菘、蘿蔔は栽培品種であるため除いた。また、ハコベについては、ウシハコベ、ミドリハコベ、コハコベ等数種ある中で、今回はミドリハコベを対象とした。

##### 4) 調査方法

調査は合同調査、個別調査の 2 種類で実施した。

合同調査は種の見分け方、生えていそうな環境等の情報交換を目的に調査期間中 5 回行った。当館が所在する大磯城山公園や大磯駅等参加者が集まりやすい場所に集合し、巡回後また同じ場所で解散できるようにコースを組んだ。

個別調査では大磯町を 17 の区域に分け、それぞれの区域に担当者をあてて、都合のよい時に巡回できるようにした。

#### 2-2. 調査の結果

それぞれの調査の結果は、図 3 から図 17 のとおりである。地図上に確認したポイントを赤い丸印で示している。実際の調査では確認した場所で株数を数え、10 株以上と 10 株未満の場所では表記の仕方を変えたが、本稿では、特に区別をせず、確認したポイントのみを紹介している。

##### 1) 桜

イヌザクラを除くすべての種類が確認できた。住宅地にはソメイヨシノが特に多く、サトザクラも所々で見ることができた。ヤマザクラとオオシマザ

(\* 当館学芸員)

クラは山間の場所を中心に見られたが、ヤマザクラが際立って多いことが分かった。また、マメザクラ、ウワミズザクラは本調査では2ヶ所、1ヶ所と極めて少なかった。サトザクラ、ウワミズザクラを除く4種については開花した直後は、それぞれの特徴がはっきり見られ、比較的容易に同定をすることができたが、開花も終わりに近づくと同定が難しくなった。葉や苞の形状をもとに判断したが、山中に生えているもの、高木のものなどは直接、葉や花を手にとってみるのが難しく、同定に時間を要した。

## 2) タンポポ

本調査では総苞片の形状、瘦果の色、形を中心に同定を行なった。総苞片が反り返るものについて、セイヨウタンポポに限った形質ではなく、カントウタンポポとの雑種が多く含まれるという見解が示されているが、本調査では、反り返っているものはセイヨウタンポポと記録した。セイヨウタンポポとアカミタンポポは花期、両種ともに総苞片が反り返る形質があり、結実期に瘦果の色を確認する必要があるが、限られた期間に広範囲の調査を行うため、2度、3度、同じコースを巡回することが難しく、瘦果の色が確認できないものは前述と同様にセイヨウタンポポと記録した。

本調査では2000年の調査と同様に4種類、すべてを確認することができた。2000年の調査と本調査を比較した結果、カントウタンポポとセイヨウタンポポの差はあまり見られなかったが、シロバナタンポポとアカミタンポポは、量的な差が顕著に見られた。2000年の調査ではアカミタンポポはやや普通に見

られ、シロバナタンポポは1ヶ所のみという結果であった。一方、本調査ではアカミタンポポは極めて少なく、シロバナタンポポは以前の結果とは異なり、少ないながらも数箇所確認できた。この理由としては、10年という時間の経過が起因しているのではなく、調査を実施した時期に原因があると思われる。2000年の調査は5月11日から6月2日までを調査期間とし、本調査では2月4日から5月4日までを調査期間とした。シロバナタンポポは他のタンポポと比べ、開花のピークが3月中旬から4月中旬頃までと早く、2000年の調査では開花のピークを外したため、少なかったようである。アカミタンポポは同定をするうえで、瘦果の色が判断の材料になるが、4月上旬頃から結実期をむかえたものをようやく目にするようになったため、確認数が少なかったのではないかと思われる。以上の点において、調査の精度については、やや問題があると思われる。次回の課題としたい。

## 3) 春の七草

特にナズナがよく確認できた。

同定の難しさという点ではコオニタビラコ、ミドリハコベに苦勞した。コオニタビラコは合同調査において、田畑で群落を確認することができ、以降、調査員は皆一様に見分けることができるようになった。ミドリハコベの見分け方にはコハコベに似た形質のものが見られ、最後まで苦慮した。調査開始当初は、雄しべの数と茎の色によって、見分けるようにしたが、花卉に対する苞片の長さを根拠に入れるようにした。



図2 調査地の区分けと巡回したコース

大磯町発行「大磯町全図（1万分の1）」の地図を縮小して使用

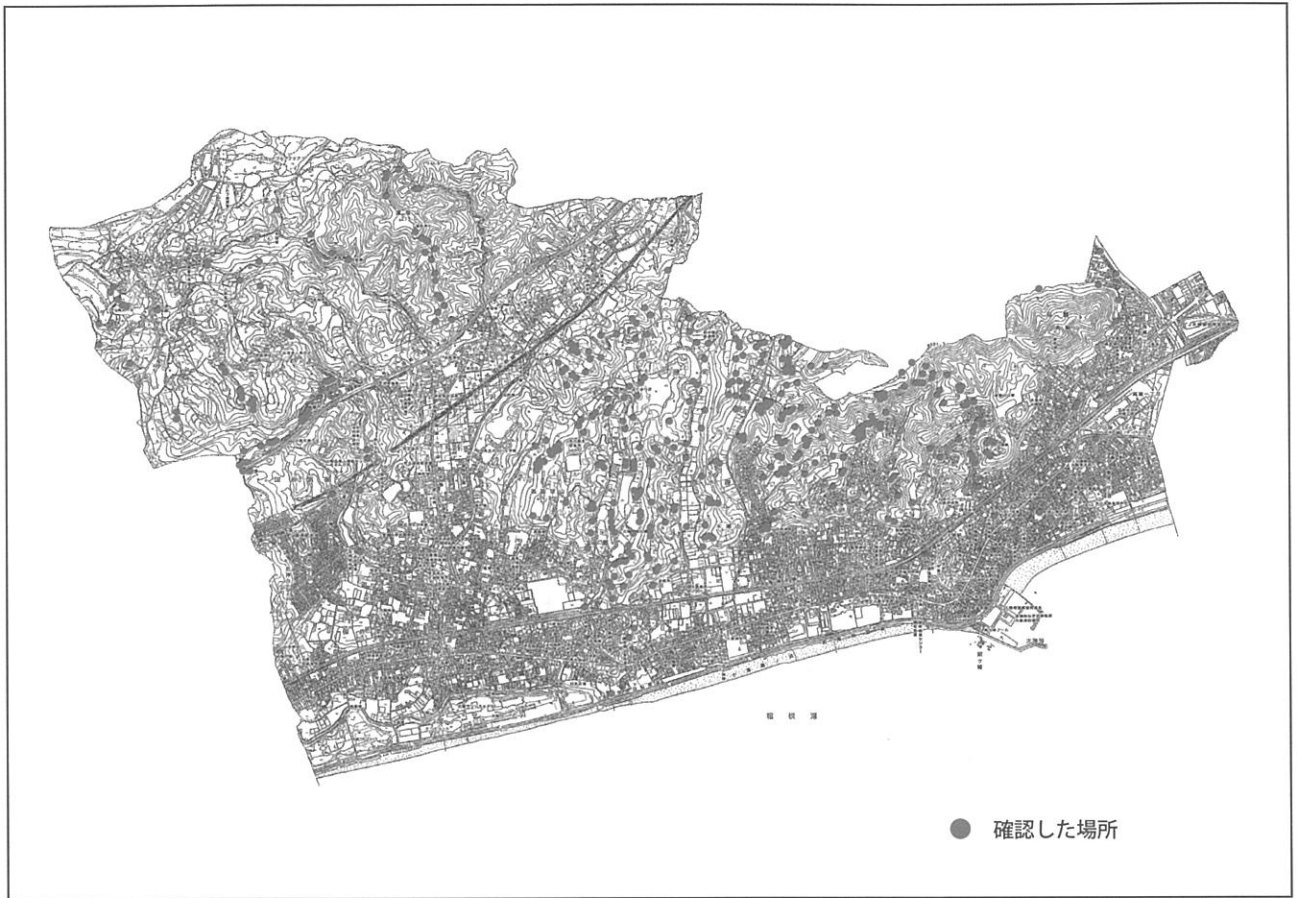


図3 ヤマザクラの分布

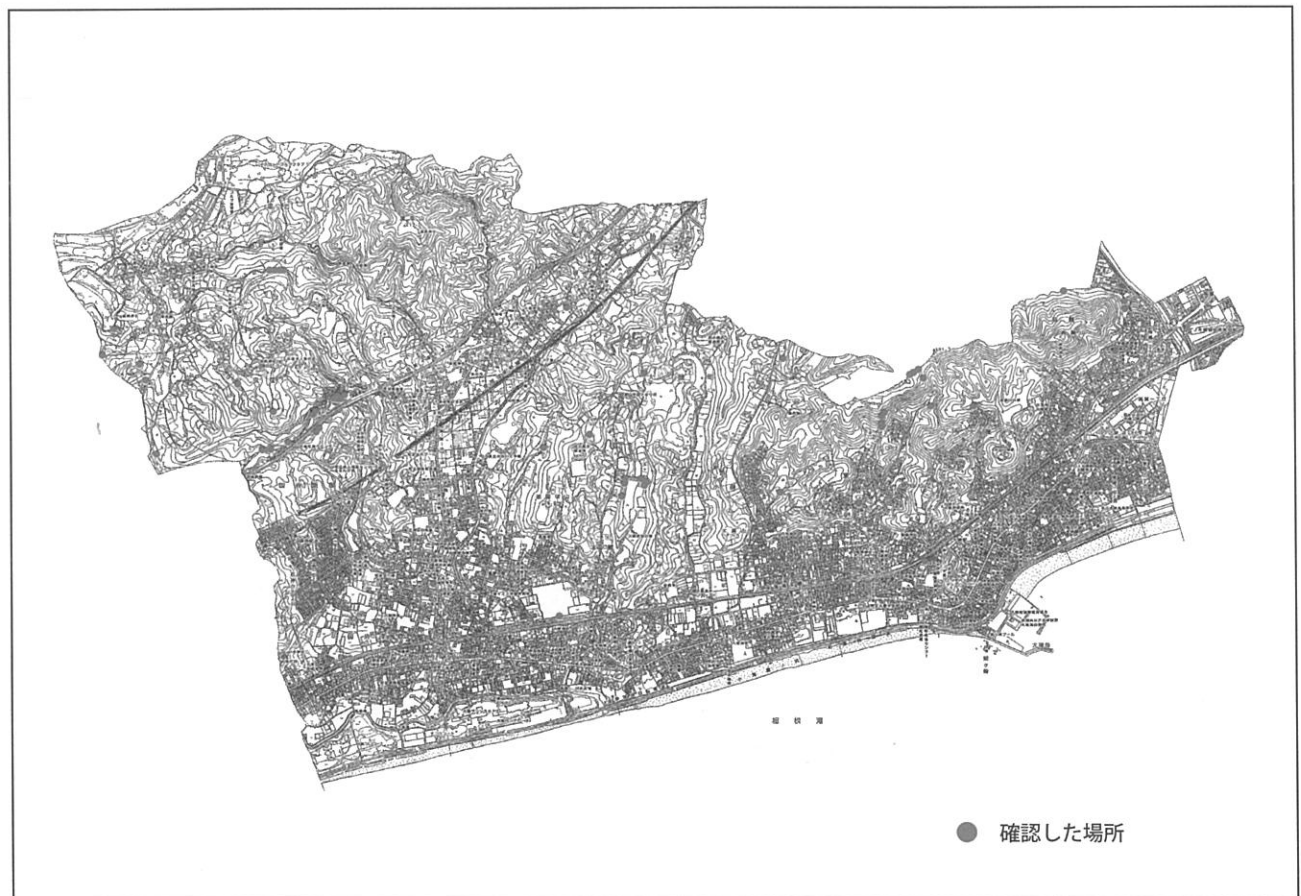


図4 オオシマザクラの分布

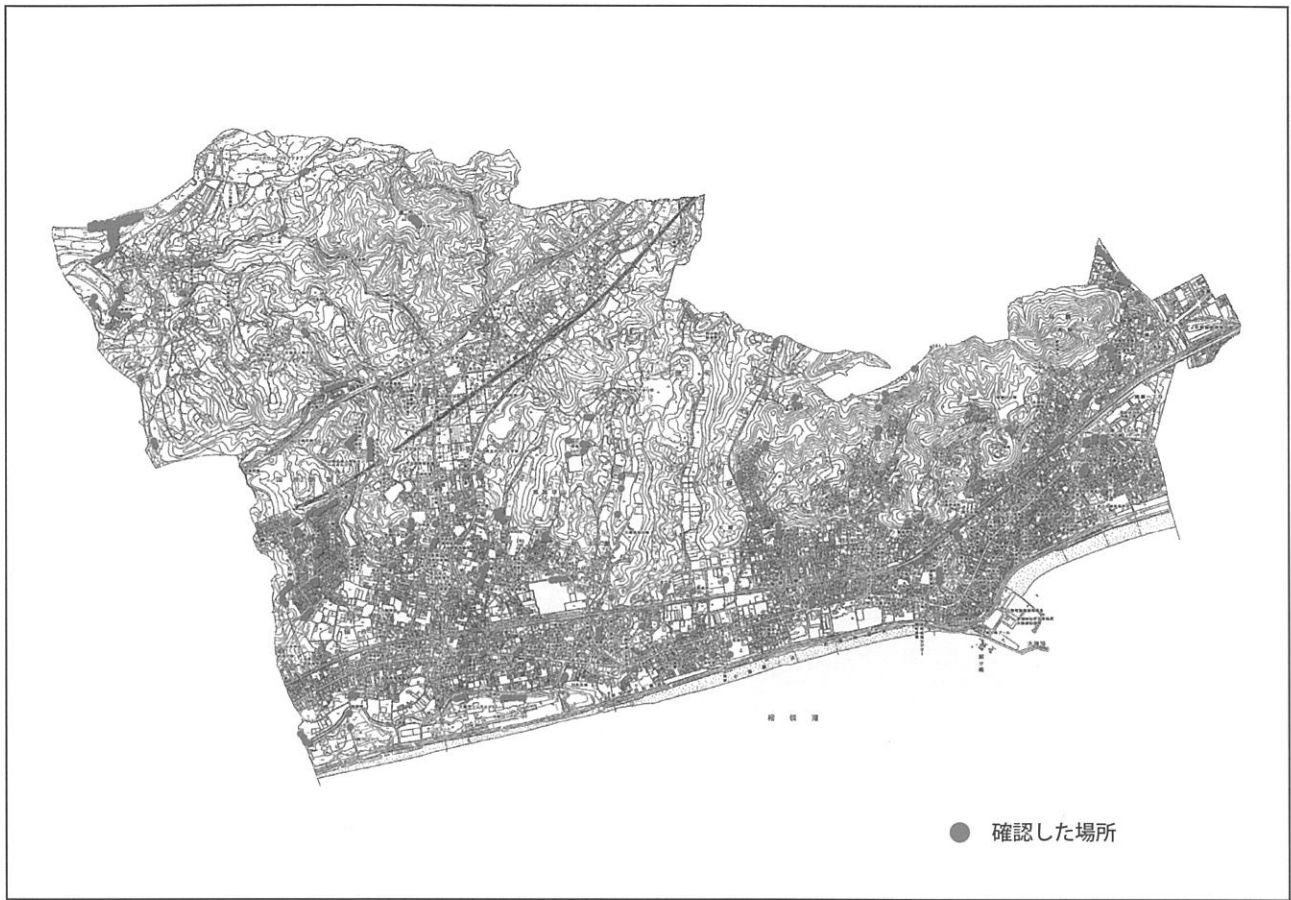


図5 ソメイヨシノの分布

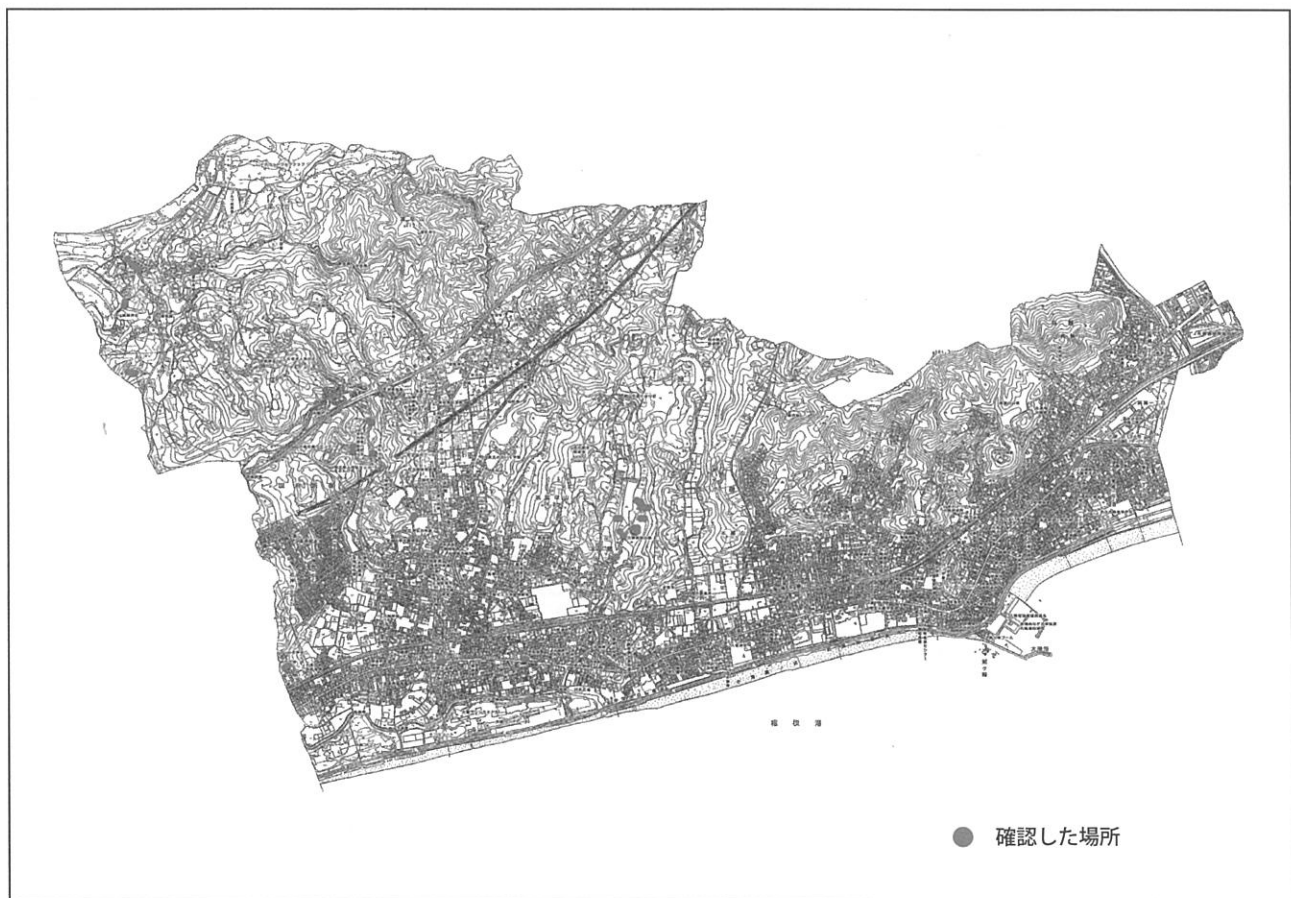


図6 サトザクラの分布



図7 マメザクラの分布

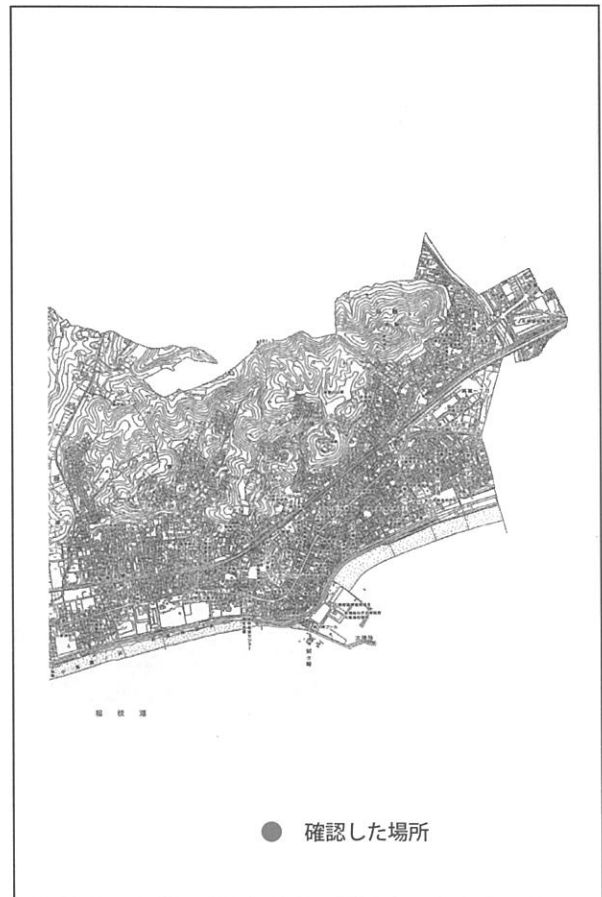


図8 ウラミズザクラの分布

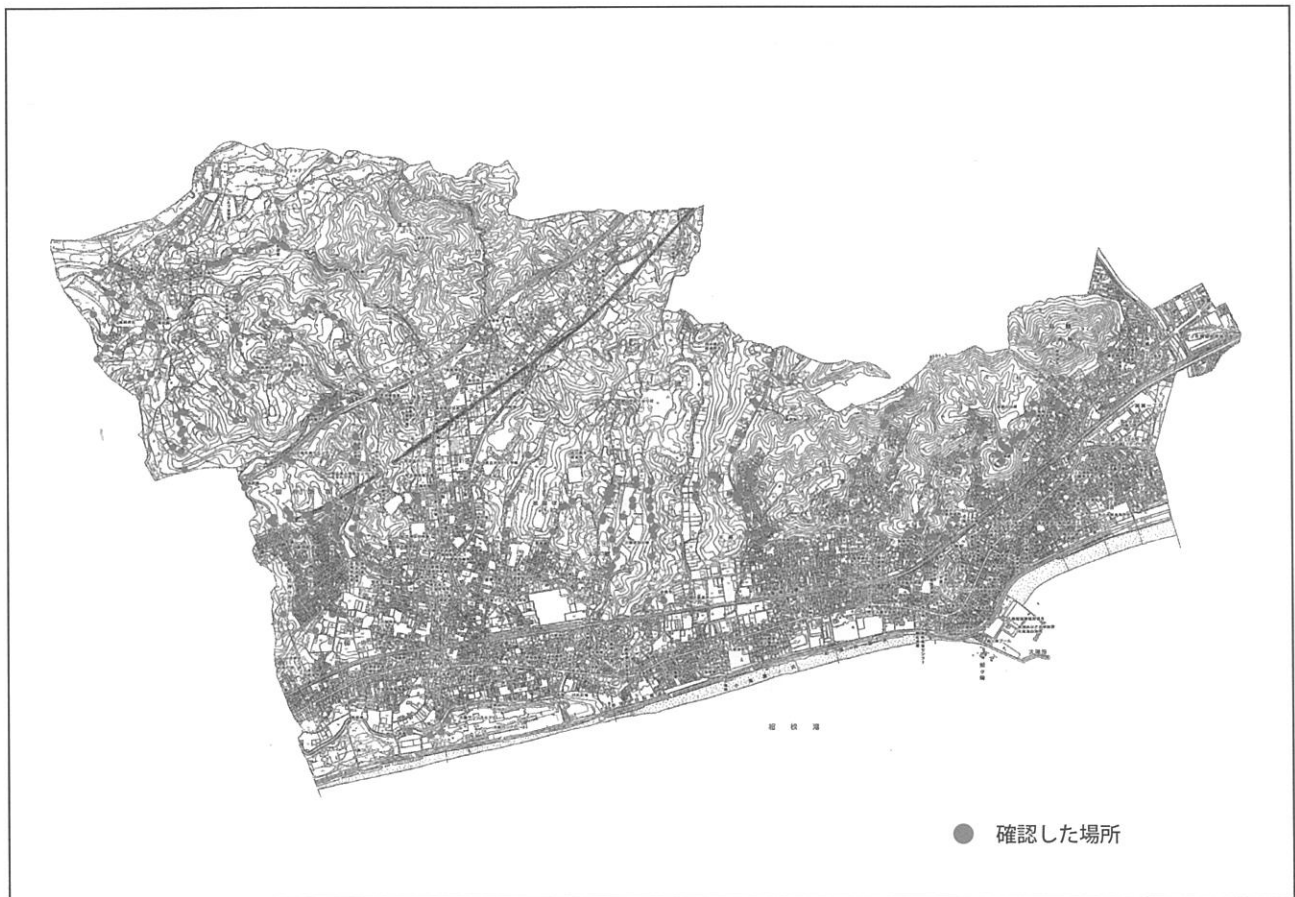


図9 カントウタンポポの分布



図 10 シロバナタンポポの分布



図 11 セイヨウタンポポの分布

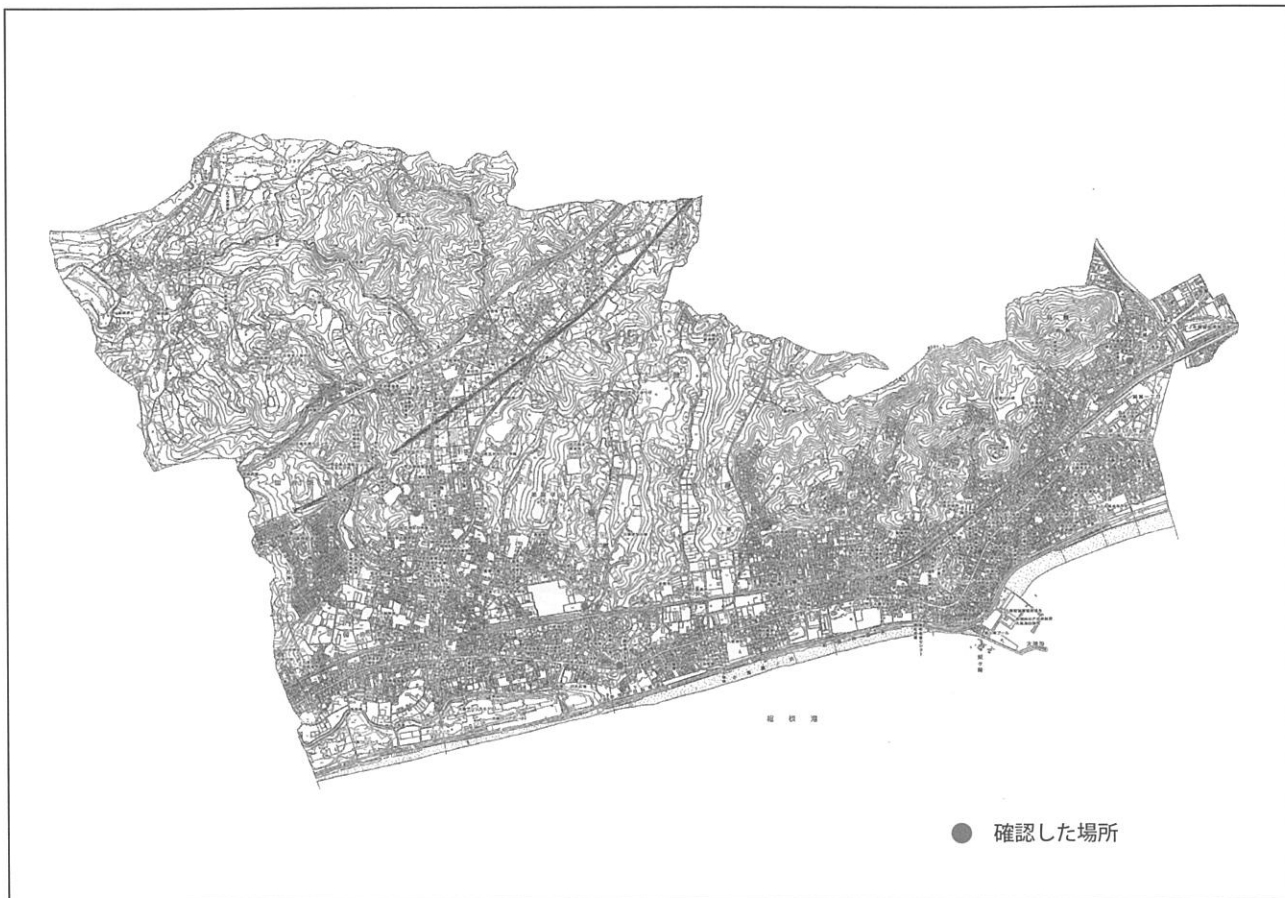


図 12 アカミタンポポの分布

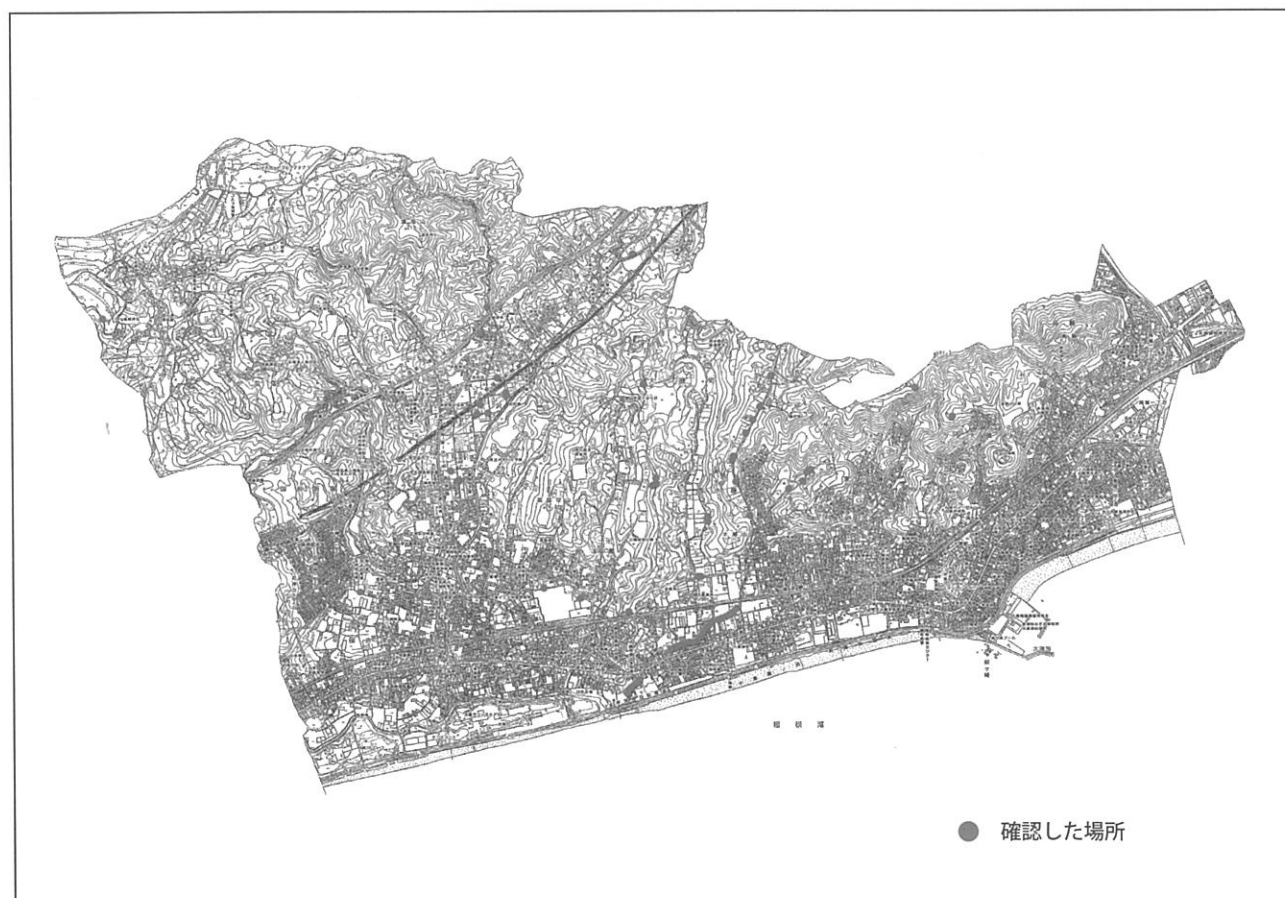


図 13 セリの分布

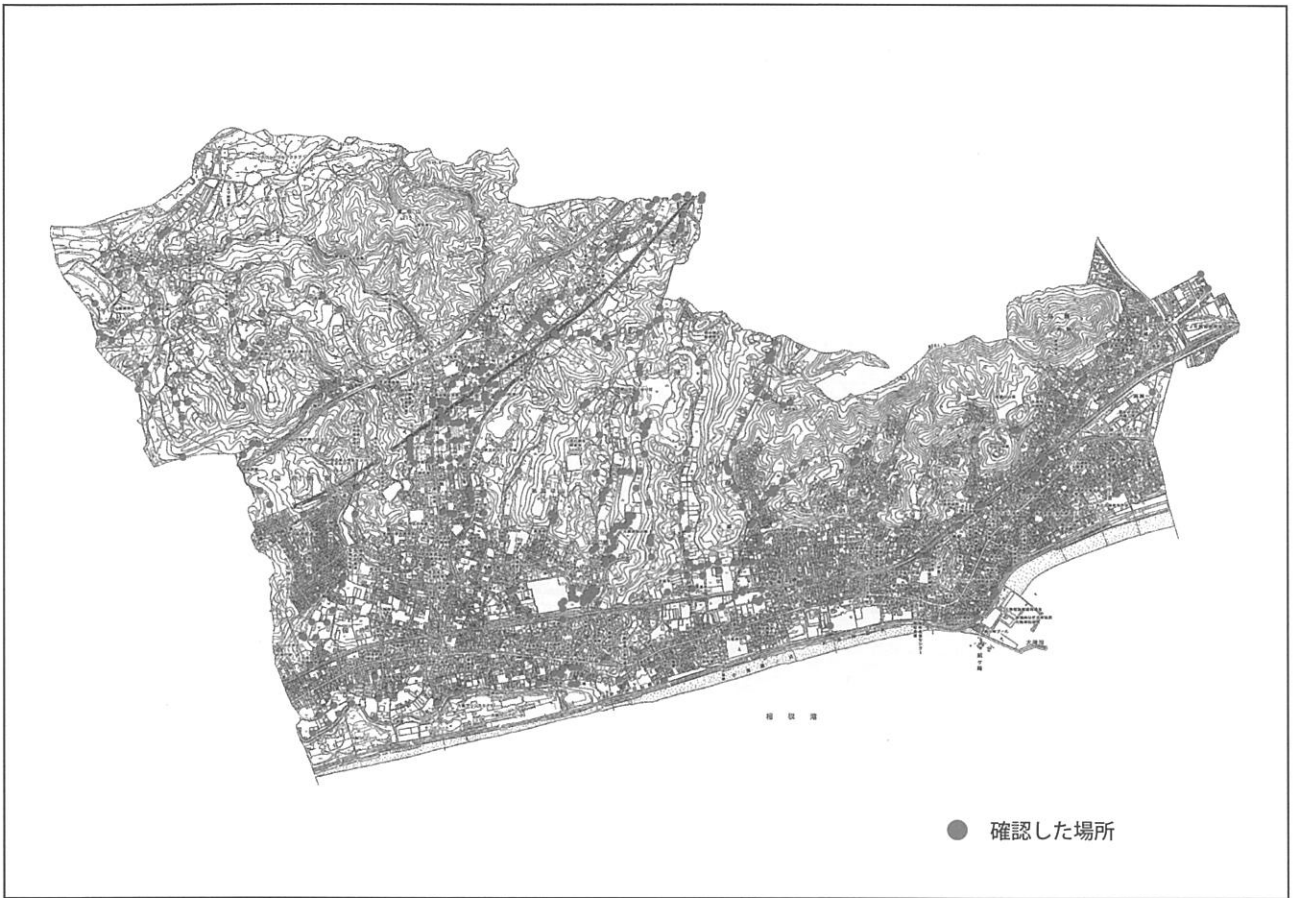


図 14 ナズナの分布

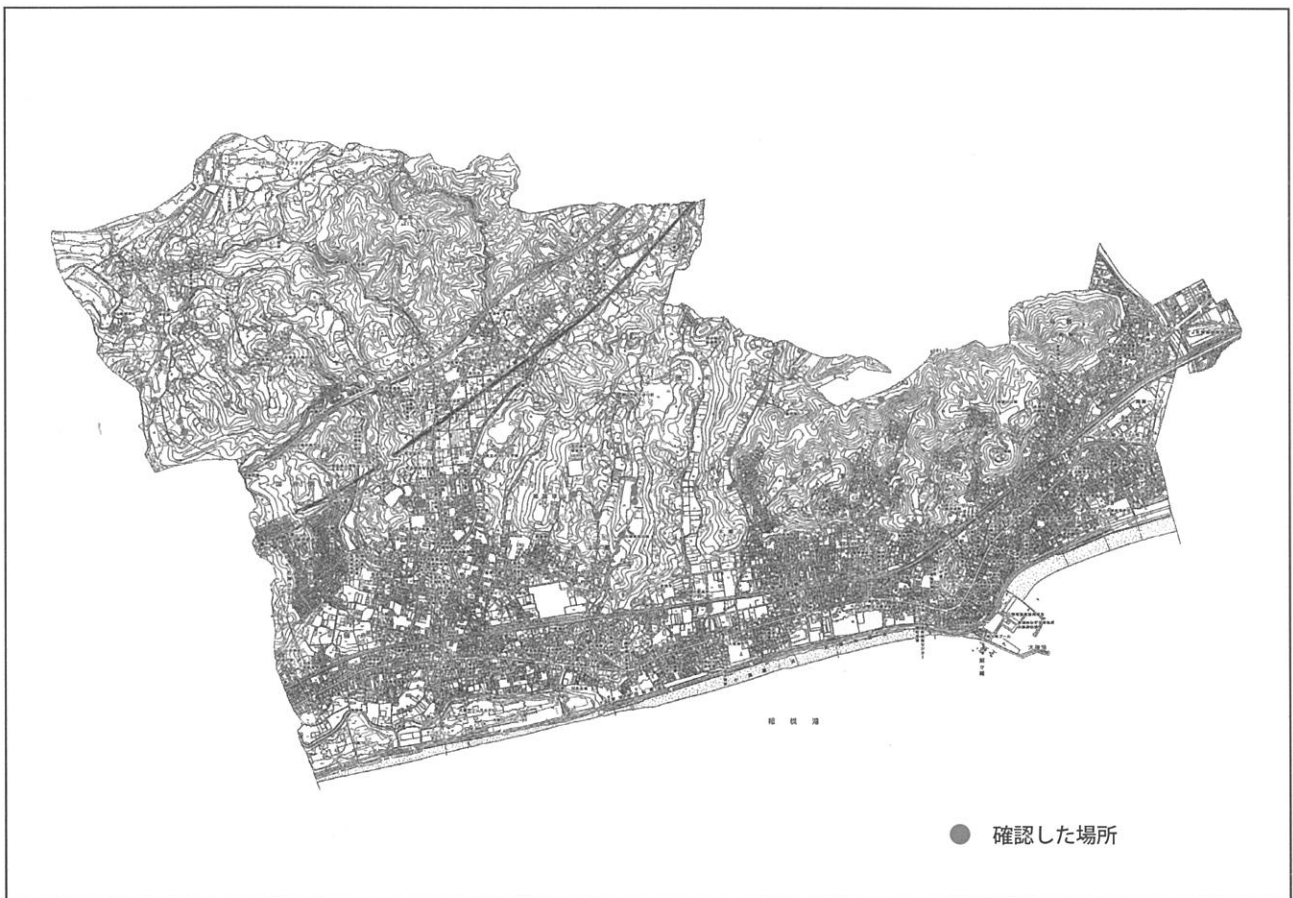


図 15 ハハコグサの分布





図 16 ミドリハコベの分布

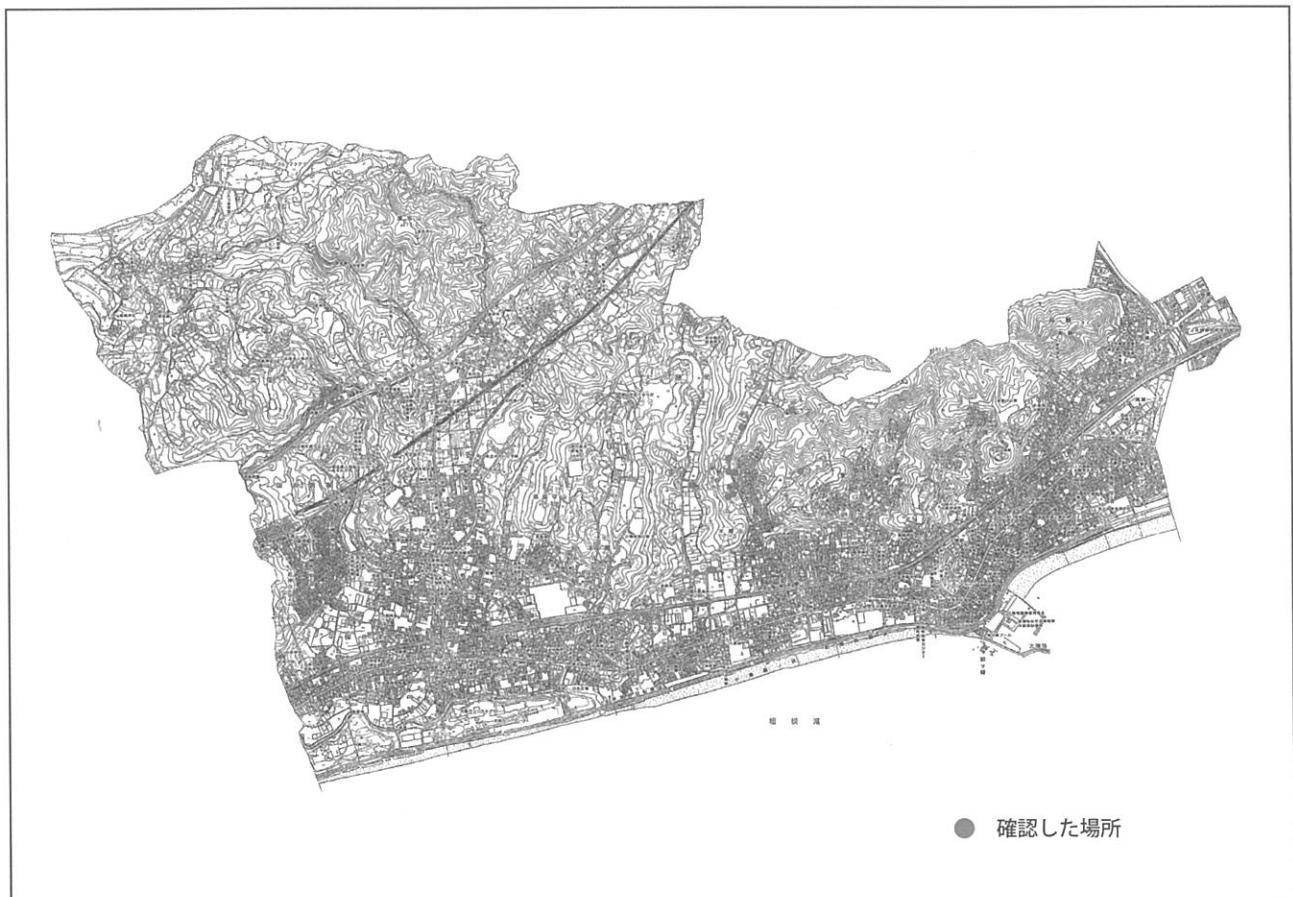


図 17 コオニタビラコの分布

### 3. 学習参考資料展『みんなで調べた 今年の大磯町の春花』の開催

調査は5月4日までであったが、調査が完了する9日前の4月25日から学習参考資料展を開催した。学習参考資料展という展示名称にしたのは中学校理科の「植物の世界」の学習に合わせた展示内容にしたことによる。

展示の準備は調査に参加された方々にもご協力いただいた。4月3日、4月20日、4月21日、4月22日、4月24日の5日間で、調査結果の集計とともに写真パネル、地図の掲示をしていただいた。

展示の構成は、桜、タンポポ、春の七草という項目別にあげた個々の種類の分布状況を地図で紹介するとともに調査期間に確認した春の花の写真を紹介するものであった。春の花の写真の展示とは、立春（2月4日）から立夏の前日（5月4日）までの期間に大磯町内で撮影された花の写真を展示するものであり、調査に参加された方はもちろんのこと、チラシや展示を見られた一般の方からもご提供をいただいた。最終的に当館職員を含めて11名の方々からご提供いただいた。会期中に徐々に手を加え、学習参考資料展初日の写真の展示枚数は63枚であったが、5月下旬には144枚と2倍以上に増えた。記録として展示した写真の一覧を表1に紹介する。

### 4. まとめ

学習参考資料展を開始する2ヶ月前のみんなで町の自然を調べようのガイダンスから出発した企画であるが、始まった当初は、全く展示する資料がなく、当館の企画展示室が埋まる程の資料が集まるかどうか不安であった。調査員の募集時も大磯町全域を対象にすることができる程の人数が集まるかどうか不安であったが、幸いにも37名という多くの方々に関心を持っていただけた。調査に参加された方から、大磯町内に住んでいても歩いたことのない場所を巡回し、それぞれの地域での自然環境の違いが理解できた。3ヶ月間という期間だったが、植物の生長をとおして季節の進み方の速さが分かった。初めて目にした植物を観察でき、参加してよかったという声をいただいた。一連の企画を予定どおり、実施することができ、多くの参加者に一定の充実感を持っていただけたことで、一応の成果を得られたのではないかと考えている。

ただし、次のことが課題としてあげられる。本展では展示資料が写真と図に偏り、実物の資料が必要と思われたため、当初は機会を見ながら、植物標本を作製していく予定でいた。しかしながら、極力、町内全域を網羅しようと調査に時間を掛け、標本作製ができなかった。根拠標本を残していくということは前回の調査である万台こゆるぎの森の植物調査

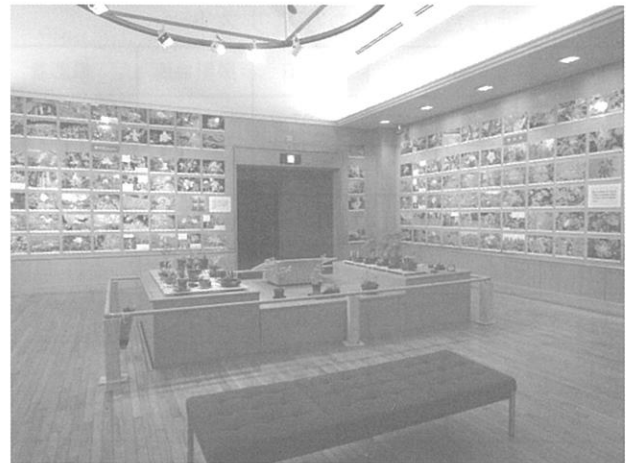


図18 春の花の展示風景

でもあげた事柄であり、今回も同様の課題を残した。また、参加者全員の同定の知識を増やしていくことも必要だと思われた。今後、夏、秋、冬とそれぞれの季節の状況を確認していく中で解消していきたい。

最後に調査及び展示準備にご参加いただいた方の名前を記して、感謝申し上げます。

秋山京子・市川恵・内山千代子・大久保恵美子・大久保武・小野恵子・小宅昭樹・小宅瑞樹・小宅裕樹・加藤喜則・川原一恵・菊池なつみ・北水慶一・小山由雄・杉山彰子・鈴木昭夫・曾根田貴子・曾根ハツエ・田中洋子・外川敏子・中村ふぢ・島山恵子・曳野義子・平島靖士・福田適・布施鈴子・星野正美・松島まり子・蓑島淳子・宮川紀子・村上敦子・村田愈子・柳田利幸・柳田道雄・矢部良子・山本章博・和田美乃（敬称略）

### 5. 参考文献

- 浅野貞夫・廣田伸七（2002）『似た草80種の見分け方』全国農村教育協会  
大原隆明（2009）『サクラハンドブック．文一総合出版』  
大場秀章・川崎哲也・田中秀明（2007）『新日本の桜』山と溪谷社  
勝木俊雄（2009）『増補改訂 フィールドベスト図鑑10 日本の桜』学習研究社  
神奈川県植物誌調査会編（2001）『神奈川県植物誌2001』神奈川県立生命の星・地球博物館  
北村四郎・村田源（1987）『原色日本植物図鑑・木本編II』保育社  
林弥栄ほか監修（2003）『野草 見分けのポイント図鑑』講談社  
平塚市博物館（2000）『平塚市博物館資料49 湘南植物誌V』平塚市博物館

表1 展示した春の花の写真リスト

No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者	No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者
1	アオキ	3月27日	西小磯		37	クロッカス	2月19日	(未詳)	外川 敏子
2	アケビ	3月23日	(未詳)	平島 靖士	38	グンバイナズナ	3月27日	国府本郷	
3	アケボノ	5月2日	国府本郷		39	ケキツネノボタン	3月27日	西小磯	
4	アブラナ	(未詳)	西久保	小山 由雄	40	ゲンゲ	3月27日	西小磯	
5	イカリソウ	4月8日	(未詳)	外川 敏子	41	コウボウムギ	5月3日	東町	
6	イチリンソウ	4月9日	生沢		42	コオニタビラコ	4月3日	西小磯	曾根 ハツエ
7	イヌシデ	3月27日	西小磯		43	コオニタビラコ	3月27日	西小磯	
8	イロハモミジ	3月28日	西小磯		44	コクサギ(雄花)	3月30日	高麗山	
9	イワボタン	4月1日	生沢		45	コクサギ(雄花)	3月21日	王城山	川瀬 和江
10	ウシハコベ	4月30日	西小磯		46	コクサギ(雌花)	3月22日	高麗山	川瀬 和江
11	ウシハコベ	4月25日	高麗山	川瀬 和江	47	コナラ	4月13日	国府本郷	
12	ウスアカカタバミ	4月14日	西小磯		48	コブシ	3月28日	西小磯	
13	ウラシマソウ	3月30日	高麗山		49	コマツヨイグサ	5月3日	大磯	
14	ウラシマソウ	(未詳)	高麗山	村上 敦子	50	コメツブツメクサ	5月2日	高麗	川瀬 和江
15	オオイヌノフグリ	3月30日	国府本郷		51	サルトリイバラ	4月1日	生沢	
16	オオムラサキ	5月2日	国府本郷		52	シキミ	4月13日	国府本郷	
17	オドリコソウ	4月1日	生沢		53	シナレンギョウ	3月27日	国府本郷	
18	オドリコソウ	4月20日	高麗	川瀬 和江	54	シャガ	3月28日	国府本郷	
19	オニタビラコ	4月13日	国府本郷		55	シャガ	3月23日	高麗	川瀬 和江
20	オヤブジラミ	5月2日	高麗	川瀬 和江	56	シュンラン	4月13日	国府本郷	
21	カキドオシ	4月24日	西小磯		57	ショカツサイ	3月30日	国府本郷	
22	カキドオシ	4月20日	高麗	川瀬 和江	58	シラユキゲシ	5月3日	高麗山	
23	カタバミ	5月3日	大磯		59	シロバナタンポポ	4月11日	(未詳)	曾根 ハツエ
24	カラシナ	3月30日	国府本郷		60	シロバナタンポポ	3月14日	高麗	
25	カントウタンポポ	4月13日	国府本郷		61	シロバナタンポポ	4月10日	大磯	小山 由雄
26	キバナオドリコソウ	5月3日	黒岩		62	シロバナタンポポ	4月13日	(未詳)	平島 靖士
27	キブシ	4月9日	鷹取山		63	シロバナハンショウヅル	5月3日	高麗山	
28	キュウリグサ	4月13日	国府本郷		64	シロバナホトケノザ	3月23日	(未詳)	平島 靖士
29	キランソウ	3月23日	高麗	川瀬 和江	65	シロバナマンテマ	5月3日	大磯	
30	キランソウ	4月10日	大磯	小山 由雄	66	シロバナマンテマ	5月2日	東町	川瀬 和江
31	キンラン	4月24日	国府本郷		67	スイバ	4月24日	西小磯	
32	クサイチゴ	3月30日	国府本郷		68	スズメノエンドウ	3月21日	大磯	川瀬 和江
33	クサノオウ	4月9日	鷹取山		69	スズメノヤリ	3月28日	国府本郷	
34	クサノオウ	4月20日	高麗	川瀬 和江	70	セイヨウアブラナ	3月30日	国府本郷	
35	クサフジ	4月19日	生沢		71	セイヨウタンポポ	4月24日	西小磯	
36	クヌギ	3月27日	国府本郷		72	セントウソウ	3月28日	西小磯	

No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者	No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者
73	セントウソウ	3月21日	王城山	川瀬 和江	109	ハマボウフウ	5月3日	東町	
74	タチイヌノフグリ	5月3日	大磯		110	ハマボウフウ	5月2日	東町	川瀬 和江
75	タチツボスミレ	4月1日	西久保	村田 愈子	111	ハルジオン	4月11日	高麗	
76	タチツボスミレ	(未詳)	虫窪	小山 由雄	112	ヒイラギナンテン	3月28日	西小磯	
77	タネツケバナ	3月30日	国府本郷		113	ヒサカキ	3月27日	西小磯	
78	ツボスミレ	4月30日	西小磯		114	ヒメウズ	3月30日	国府本郷	
79	ツルナ	5月2日	大磯	川瀬 和江	115	ヒメオドリコソウ	3月30日	国府本郷	
80	ツルニチニチソウ	3月31日	国府本郷		116	ヒュウガミズキ	3月15日	(未詳)	平島 靖士
81	トウダイグサ	3月15日	国府本郷		117	ヒルザキツキミソウ	5月3日	大磯	
82	トウダイグサ	3月23日	東町	川瀬 和江	118	フキ	4月13日	国府本郷	
83	トキワツユクサ	4月30日	西小磯		119	フクジュソウ	2月19日	(未詳)	外川 敏子
84	トキワツユクサ	5月2日	高麗山	川瀬 和江	120	フデリンドウ	4月13日	国府本郷	
85	トサミズキ	3月28日	西小磯		121	フラサバソウ	3月20日	高麗	川瀬 和江
86	トベラ	5月3日	東町		122	ヘビイチゴ	4月25日	高麗山	川瀬 和江
87	トベラ	5月2日	東町	川瀬 和江	123	ヘラオオバコ	5月3日	大磯	
88	ナガミヒナゲシ	4月24日	西小磯		124	ホウチャクソウ	4月24日	国府本郷	
89	ナズナ	4月1日	西久保	村田 愈子	125	ホウチャクソウ	4月25日	高麗山	川瀬 和江
90	ナズナ	3月11日	(未詳)	平島 靖士	126	ボケ	3月19日	西小磯	
91	ナツグミ	4月10日	高麗山		127	ホタルカズラ	4月13日	国府本郷	
92	ナツトウダイ	3月22日	高麗山	川瀬 和江	128	ホトケノザ	3月15日	国府本郷	
93	ナツトウダイ	4月9日	(未詳)	平島 靖士	129	マツバウンラン	4月20日	高麗	川瀬 和江
94	ニリンソウ	3月30日	高麗山		130	マルバウツギ	5月3日	高麗山	
95	ニリンソウ	3月22日	高麗山	川瀬 和江	131	マルバウツギ	5月2日	高麗山	川瀬 和江
96	ニリンソウ	(未詳)	高麗山	内山 千代子	132	マルバシャリンバイ	5月3日	東町	
97	ニリンソウ	4月11日	(未詳)	平島 靖士	133	ムラサキケマン	3月27日	国府本郷	
98	ノゲシ	4月11日	高麗		134	ムラサキサギゴケ	3月30日	西小磯	
99	ノジシャ	4月25日	国府本郷		135	モクレイシ	3月13日	西小磯	
100	ノジスミレ	4月1日	西小磯	加藤 喜規	136	モクレイシ	(未詳)	西小磯	内山 千代子
101	ノボロギク	3月27日	西小磯		137	モチノキ	3月28日	西小磯	
102	バイモ	3月28日	国府本郷		138	モミジイチゴ	3月27日	西小磯	
103	ハナニラ	4月3日	西小磯		139	ヤハズエンドウ	3月15日	国府本郷	
104	ハナニラ	(未詳)	西久保	小山 由雄	140	ヤブツバキ	3月18日	高麗山	
105	ハハコグサ	3月30日	高麗山		141	ヤマネコノメソウ	3月15日	(未詳)	平島 靖士
106	ハマエンドウ	5月3日	東町		142	ヤマブキ	4月11日	西小磯	
107	ハマヒルガオ	5月3日	東町		143	ヤマモモ	3月27日	国府本郷	
108	ハマヒルガオ	5月2日	東町	川瀬 和江	144	ユリワサビ	(未詳)	高麗山	内山 千代子

「撮影者」欄の未記載のものは、郷土資料館職員が撮影したもの